

感染防止策チェックリスト

【令和4年9月15日版】

開催概要

イベント名	ジャパンバードフェスティバル2022	
出演者・チーム等	別紙参照	
開催日時	令和4年11月5日(土) 9時30分～16時00分 6日(日) 9時30分～15時30分 ※複数回開催の場合 ⇒ 一覧を参照してください。	
開催会場	①アビスタ ②手賀沼公園 ③我孫子駅南口けやきプラザ前 ④アビクオーレ	
会場所在地	千葉県我孫子市若松 26 番地の 4、我孫子市若松 1、 我孫子市本町 2 丁目 1、我孫子市本町 3 丁目 2	
主催者	ジャパンバードフェスティバル実行委員会	
主催者所在地	千葉県我孫子市高野山新田 193 番地	
主催者連絡先	04-7185-1484	jbf@city.abiko.chiba.jp
収容率 (上限)	大声なしで開催	
	<input type="checkbox"/> ①収容定員あり 100%	<input checked="" type="checkbox"/> ②収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	大声ありで開催	
	<input type="checkbox"/> ③収容定員あり 50%	<input type="checkbox"/> ④収容定員なし 十分な人と人との間隔(最低 1m)
いずれかを選択	「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催	
	<input type="checkbox"/> ⑤収容定員あり 大声なしのエリア：100% 大声ありのエリア：50%	<input type="checkbox"/> ⑥収容定員なし 大声なしのエリア： 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア： 十分な人と人との間隔(最低 1m)
収容定員	設定なし (注)	—
参加人数	5,000人 (注)	
その他特記事項	参加人数：イベント会場に同時に滞在する最大の参加人数 大声なし：①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発することを推奨はしない。また、ステージについても必要な感染対策を実施するため。	

(※) 大声の定義は、「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当するものとする。

(注) 収容率(上限)において、⑤を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

感染防止策チェックリスト

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

① 飛沫感染 対策

適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底

イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保

（※）大声の定義は「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、

大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保

大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施

② エアロゾ ル感染対策

機械換気による常時換気又は窓開け換気

適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】

イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

③ 接触感染 対策

イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施

イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

感染防止策チェックリスト

基本的な 感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要

1. イベント参加者の感染対策

(2) その他の感染対策

④ 飲食時の 感染対策



前項（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知

⑤ イベント 前の感染 対策



発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ

⑥ 感染拡大 対策



イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者や スタッフの 感染対策



出演者やスタッフによる、練習時・本番等における前項（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施



舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

別紙

開催日時	令和4年11月5日(土) 9:30~16:00 11月6日(日) 9:30~15:00
出演者・チーム等	日本野鳥の会千葉県、(公財)日本鳥類保護連盟、千葉県野鳥の会、我孫子野鳥を守る会、我孫子市鳥の博物館友の会、株式会社文一総合出版、アルパインツアーサービス株式会社、(一社)日本望遠鏡工業会、全日本バードカービング協会、(公財)山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館、千葉県環境生活部自然保護課、有限会社フィールドアート、写遊 暈、JOBAN アートライン協議会、手賀沼ヤキソバ、我孫子市福祉施設連絡会、下田市、学生バードソン2022 実行委員会、Team SPOON、(一社)知床羅臼町観光協会、根室市観光協会、別海町商工観光課、十三崖チョウゲンボウ応援団、(一社)東京諸島観光連盟 小笠原村観光局、東京都三宅村/三宅島観光協会、猛禽類保護センター活用協議会、コウノトリと共生する地域づくり推進協議会、コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム、関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会、コウノトリの個体群管理に関する機関・施設間パネル(IPPM-OWS)、(公財)日本野鳥の会、日本ワイルドライフアート協会 有志、NPO 行徳自然ほごくらぶ、NPO サヘルの森、認定NPO法人 TSUBASA、天売島ケイマフリぷろじえくと、ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館、NPO 法人藤前干潟を守る会、鳥取県八東ふるりの森、(一社)小清水町観光協会、羽幌シーバードフレンドリー推進協議会、NPO 法人小鳥レスキュー会、(一社)いのちの森、弥生軒、ハリオン、柏鳥一番、インド・ネパール料理 ユニーク、小川珈琲株式会社、ルメール、我孫子インフォメーションセンターアビシルベ、陶芸家 鈴木陽子、有限会社 鳥海書房、昆虫文献 六本脚、生態科学出版株式会社、株式会社エンウィット、鳥工房 AYA、motif 工房、有限会社ナチュラルリー、栃木屋工房、野鳥生活、沼草苑、ぼんきまる、いきものらぼ、松永弦楽器工房、クラフトウォーカー、OmuPasta、株式会社西遊旅行、ハクバ写真産業株式会社、興和オプトロニクス株式会社、株式会社ニコイメージングジャパン、株式会社ケンコー・トキナー、株式会社アドウェーブ、株式会社サイトロンジャパン、株式会社阪神交易、OM デジタルソリューションズ株式会社、キヤノンマーケティングジャパン株式会社、協栄産業株式会社、富士フイルム イメージングシステムズ株式会社、株式会社タムロン、ソニーコンシューマーセールス株式会社、西山遥翔、メルヘン西山、らいをん、かぐら、ex-LOVE3、小野瀬雅生と須藤祐、鈴木美也子、アンドロップ4、chroma factory、朽木野鳥を守る会、大石理乃、SOGA つ娘、はねる、♪鳥くん&The PIPITZ